

Title	第6回「ベスト・プレゼンテーション賞」の授賞
Sub Title	
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2012
Jtitle	Library and information science No.68 (2012. ) ,p.123- 123
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000068-0123">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000068-0123</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 第6回 「ベスト・プレゼンテーション賞」の授賞

2007年度研究大会から「ベスト・プレゼンテーション賞」を新設しました。これは、研究大会における口頭発表について、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技術の向上を目指してこの賞を設けました。

2012年度の対象者は学生としての所属を明示した登壇発表者（大学院生など）とし、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づく投票を行いました。なお、2007年度から2011年度までは発表者全員を対象とし、発表の内容ではなく、プレゼンテーション技法を評価の対象としました。

この賞の受賞者は、研究大会の参加者の投票によって選ばれます。開票後、決定した受賞者名は、三田図書館・情報学会ウェブサイトと Library and Information Science 誌上で発表し、後日、賞品を授与しています。発表スライドのPDF版を学会ウェブサイトから閲覧できます。

### 2012年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

新見槇子氏（慶應義塾大学大学院）

発表題目：アメリカの大学図書館による学士課程学生対象の表彰制度の現状調査

42票の投票があり、新見槇子氏が11票を得て1位となりました。主な投票理由は、表彰制度について初めて知り興味深かった、研究の着眼点がよかった、話し方とスライドがわかりやすかった、内容がよく理解できた、などです。